

## 第2章 生活意識【問6】

### 【全体の状況】

県民の様々な生活意識を把握するために、34項目を提示して「そう思う」と「そう思わない」で尋ねた。

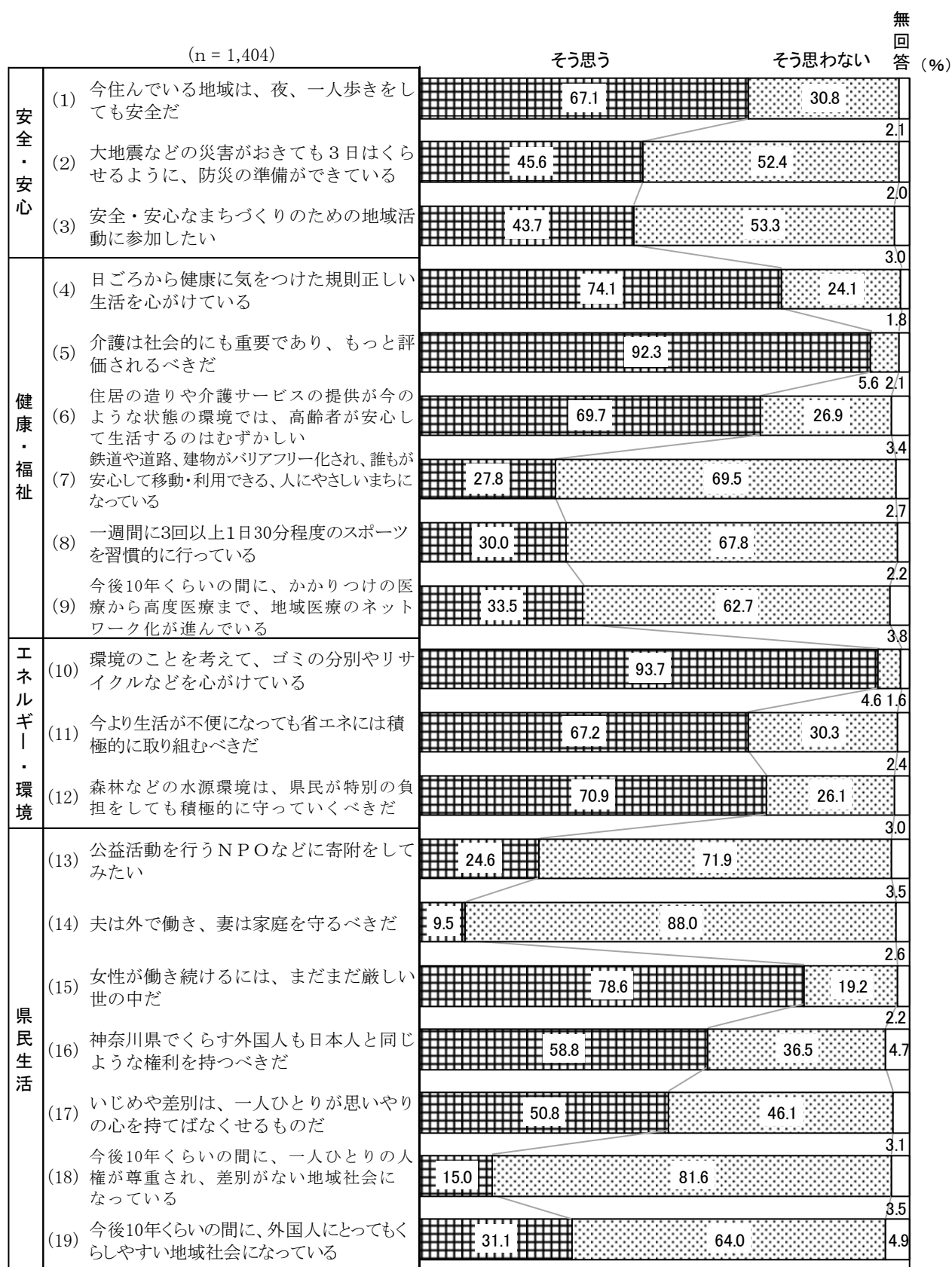
「そう思う」では、「(10) 環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている」が93.7%で最も多く、次いで「(5) 介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が92.3%であった。

以下、「(21) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」(90.7%)、「(31) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ」(86.8%)、「(29) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい」(86.4%)が続いた。

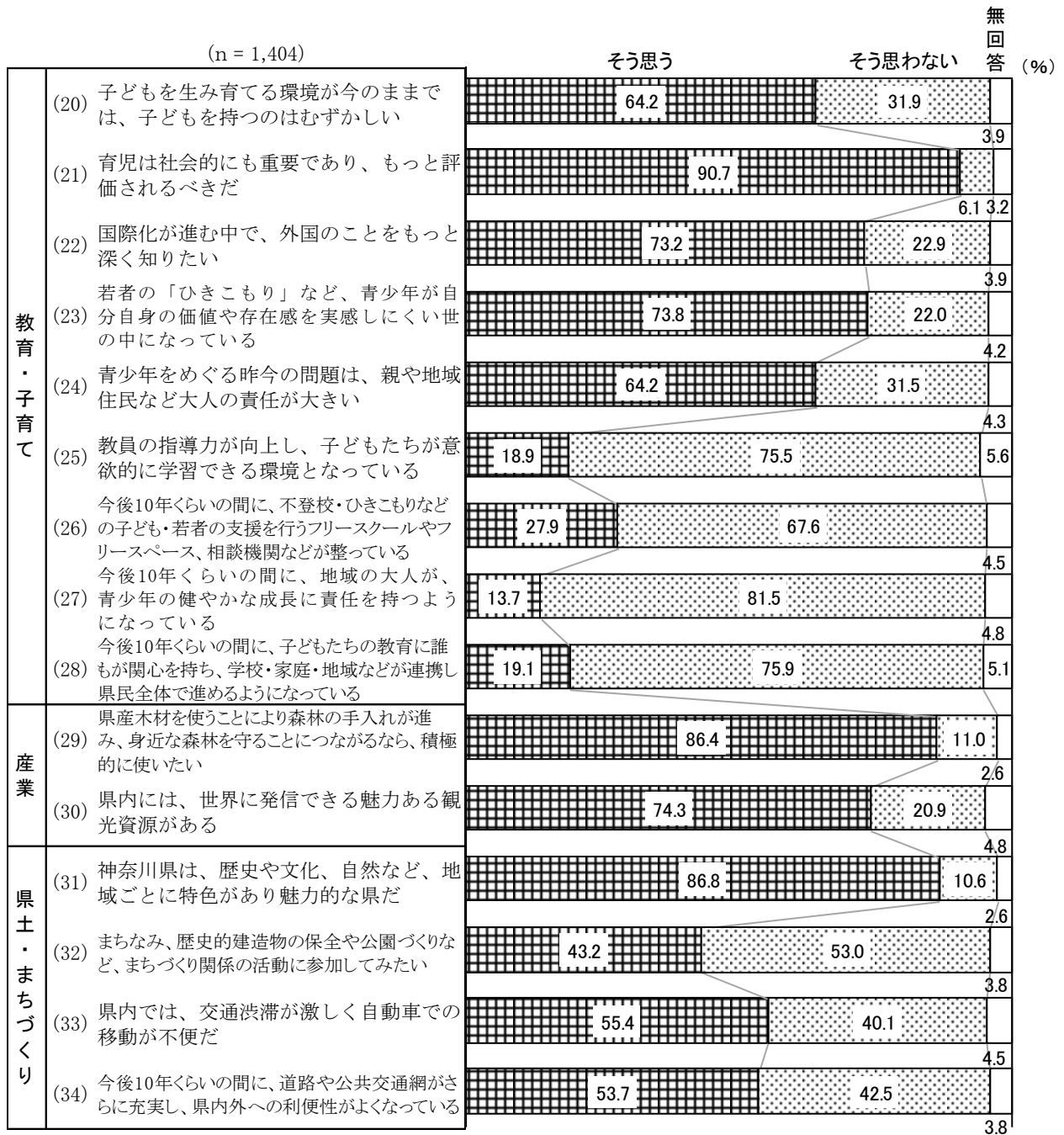
「そう思わない」では、「(14) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」が88.0%で最も多かった。

(図表2)

図表 2 生活意識



図表2 生活意識（つづき）



【過去との比較】

「そう思う」の上位10項目については、平成30年度以降、「(10) 環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている」が第1位、「(5) 介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が第2位、「(21) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が第3位であった。

(図表 2 (1))

図表 2 (1) 生活意識「そう思う」の上位10項目—過去との比較

	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)	令和3年度 (n = 1,503)	令和4年度 (n = 1,404)
1位	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (93.2%)	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (92.5%)	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (91.8%)	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (93.5%)	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (93.7%)
2位	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (91.9%)	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (91.2%)	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (91.2%)	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (92.2%)	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (92.3%)
3位	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (89.5%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (88.8%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (89.6%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (91.0%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (90.7%)
4位	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (84.4%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (82.2%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (85.6%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (84.8%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (86.8%)
5位	食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気を付けている (84.1%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (80.6%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (83.2%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (83.6%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (86.4%)
6位	値段や外観にかかわらず、安全な農産物を食べたい	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (76.8%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (77.3%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (76.4%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (78.6%)
7位	個人情報の漏えいやインターネットを通じた情報の流出など、自分の情報の漏えいに不安を感じることがある (83.5%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ (74.7%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ (74.7%)	県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある (74.3%)
8位	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (81.4%)	住居の造りや介護サービスの提供が今の状態の環境では、高齢者が安心して生活するのはむずかしい (73.4%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている (73.9%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている (73.4%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている (74.1%)
9位	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (77.4%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている (72.4%)	県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある (72.7%)	住居の造りや介護サービスの提供が今の状態の環境では、高齢者が安心して生活するのは難しい。 (71.3%)	若者の「ひきこもり」など、青少年が自分自身の価値や存在感を実感しにくい世の中になっている (73.8%)
10位	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ (77.3%)	今より生活が不便になっても省エネには積極的に取り組むべきだ (71.6%)	今より生活が不便になっても省エネには積極的に取り組むべきだ (72.2%)	国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい (71.3%)	国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい (73.2%)

「そう思わない」の上位10項目については、前年度と比較して項目の入れ替えはなく、「(14) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」が第1位、「(18) 今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている」が第2位、「(27) 今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている」が第3位となった。(図表2(2))

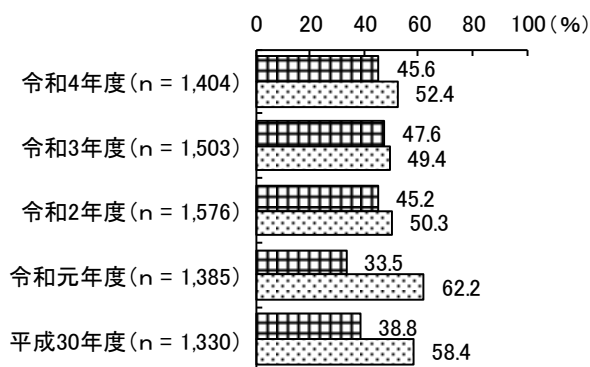
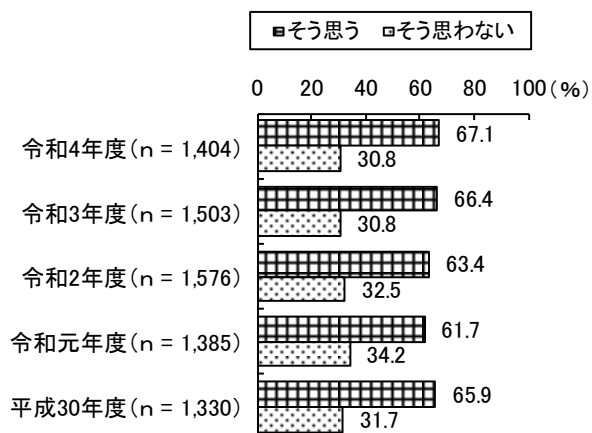
図表2(2) 生活意識「そう思わない」の上位10項目—過去との比較

	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)	令和3年度 (n = 1,503)	令和4年度 (n = 1,404)
1位	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (81.4%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (82.7%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (84.9%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (86.1%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (88.0%)
2位	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (78.1%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (80.4%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (80.1%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (80.7%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (81.6%)
3位	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (78.0%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (77.8%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (79.4%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (79.5%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (81.5%)
4位	NPO法人に寄付してみたい (75.3%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (75.2%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (75.5%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (76.5%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (75.9%)
5位	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (74.7%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (73.9%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (73.9%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (75.2%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (75.5%)
6位	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (73.2%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (73.3%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (70.1%)	公益活動を行うNPOなどに寄附してみたい (70.6%)	公益活動を行うNPOなどに寄附してみたい (71.9%)
7位	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (70.2%)	公益活動を行うNPOなどに寄附してみたい (70.2%)	公益活動を行うNPOなどに寄附してみたい (67.8%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (69.1%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (69.5%)
8位	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (69.3%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (67.8%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (67.1%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (68.2%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (67.8%)
9位	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもり等の子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (66.9%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもり等の子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (66.6%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (64.5%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (67.3%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (67.6%)
10位	今後10年くらいの間に、外国人にとっても暮らしやすい地域社会になっている (59.8%)	今後10年くらいの間に、外国人にとっても暮らしやすい地域社会になっている 大地震などの災害がおきても3日は暮らせるように、防災の準備ができています (62.2%)	今後10年くらいの間に、外国人にとっても暮らしやすい地域社会になっている (63.9%)	今後10年くらいの間に、外国人にとっても暮らしやすい地域社会になっている (65.0%)	今後10年くらいの間に、外国人にとっても暮らしやすい地域社会になっている (64.0%)

図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）

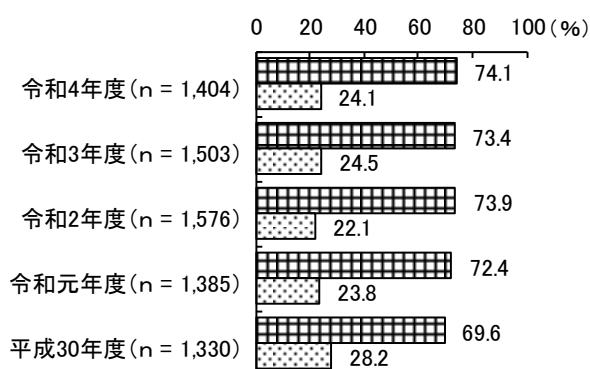
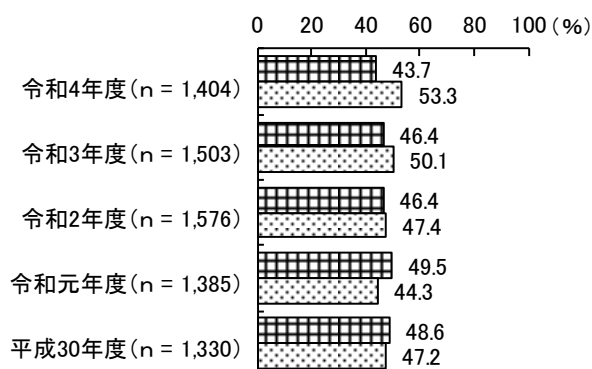
(1) 今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ

(2) 大地震などの災害がおきても3日はくらせるように、防災の準備ができています



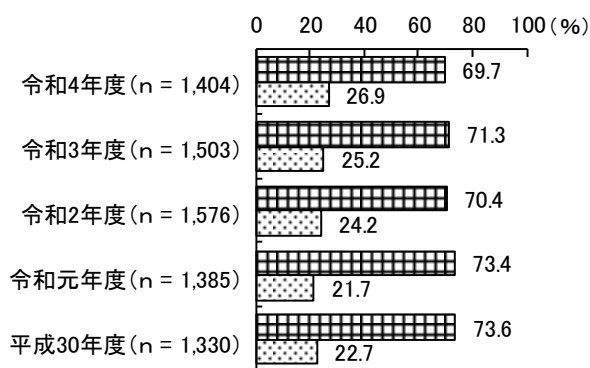
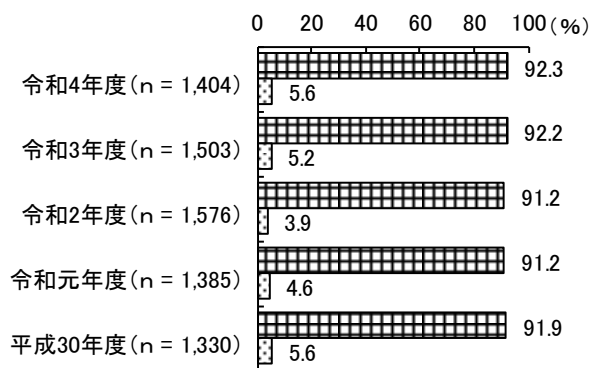
(3) 安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい

(4) 日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている



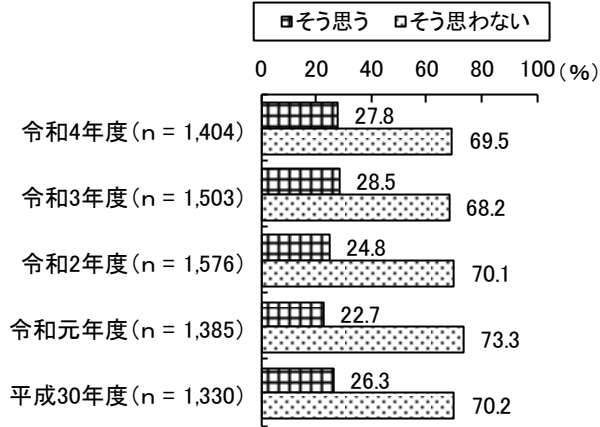
(5) 介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ

(6) 住居の造りや介護サービスの提供が今の様な状態の環境では、高齢者が安心して生活するのはむずかしい

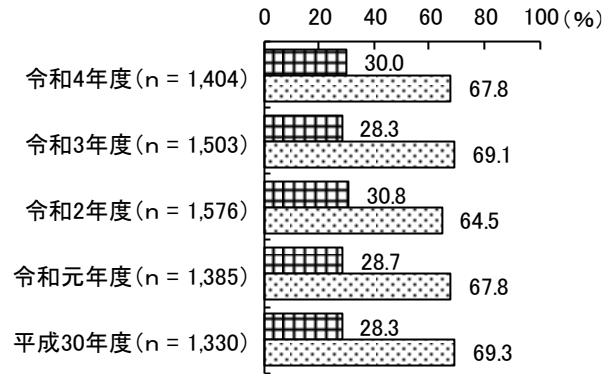


図表 2 (3) 生活意識 (過去との比較) (つづき)

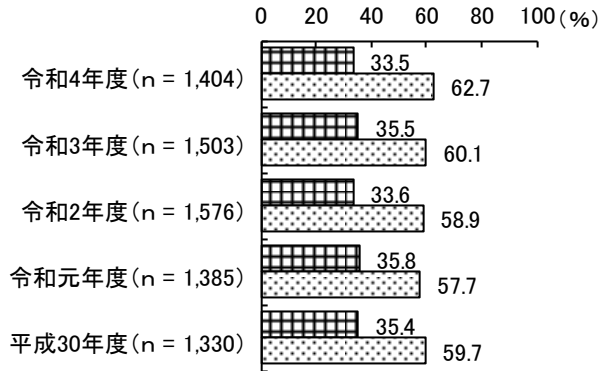
(7) 鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている



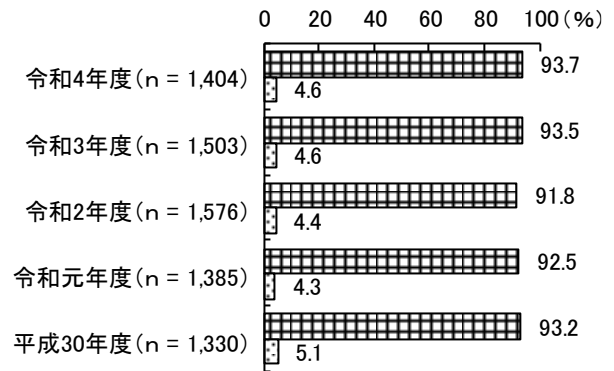
(8) 一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている



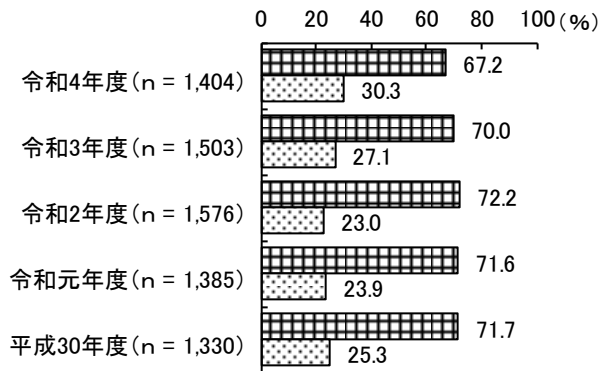
(9) 今後10年くらいの間、かかりつけの医療から高度医療まで、地域医療のネットワーク化が進んでいる



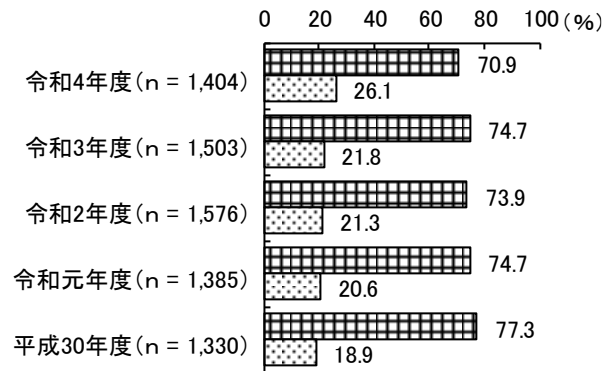
(10) 環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている



(11) 今より生活が不便になっても省エネには積極的に取り組むべきだ

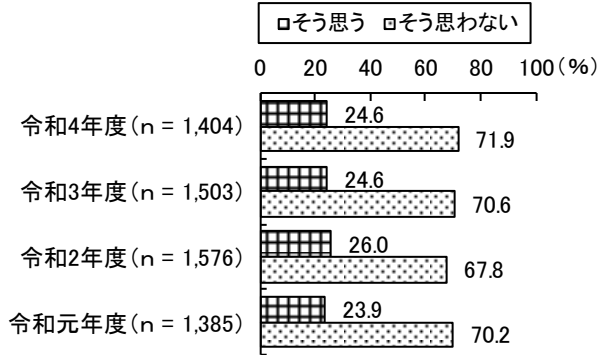


(12) 森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ

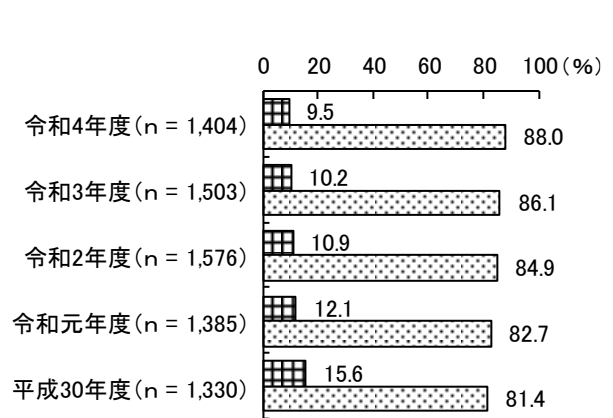


図表 2 (3) 生活意識 (過去との比較) (つづき)

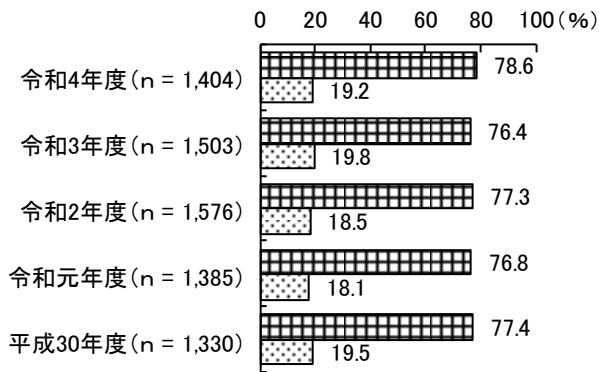
(13) 公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい  
(注) 令和元年度から追加された項目である



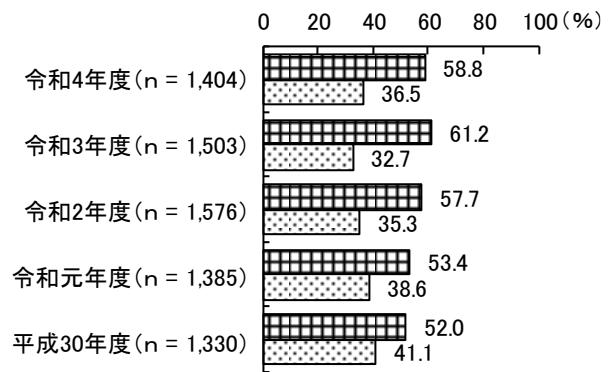
(14) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ



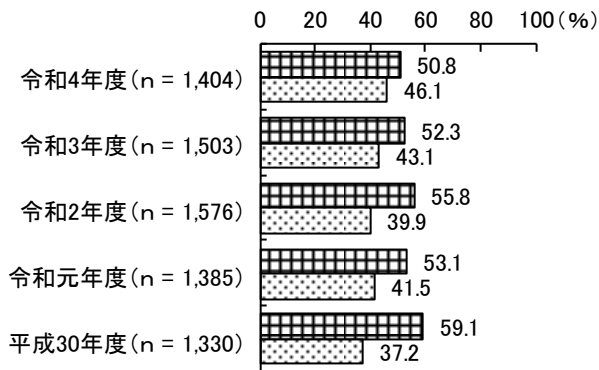
(15) 女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ



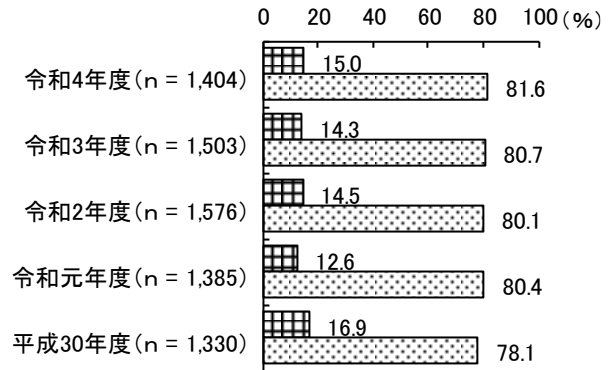
(16) 神奈川県でくらす外国人も日本人と同じような権利を持つべきだ



(17) いじめや差別は、一人ひとりが思いやりの心を持ってばなくせるものだ



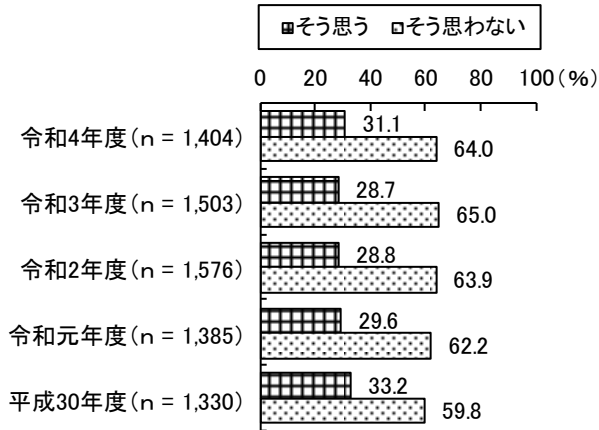
(18) 今後10年くらいの間には、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている



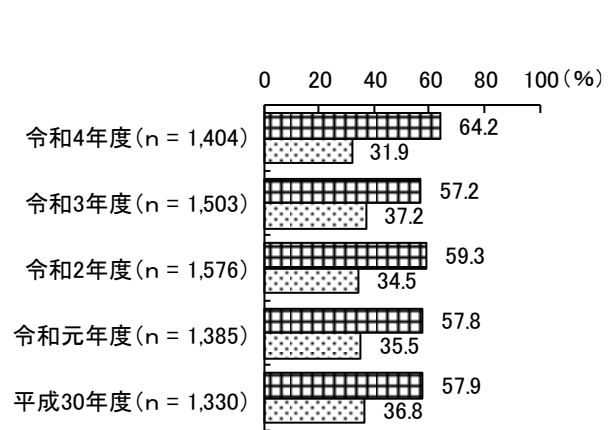


図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）（つづき）

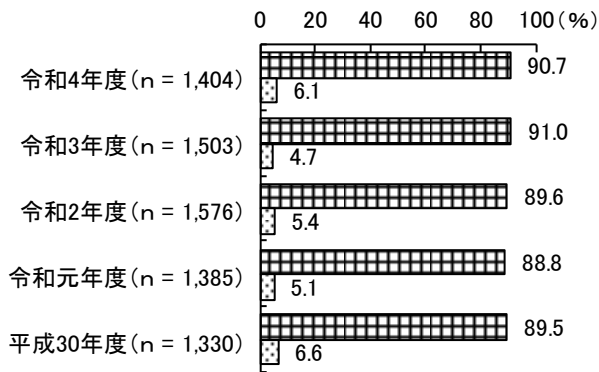
(19) 今後10年くらいの間に、外国人にとっても  
 暮らしやすい地域社会になっている



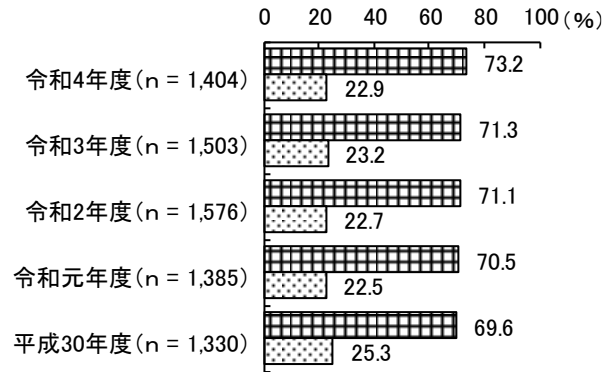
(20) 子どもを生ま育てる環境が今のままでは、  
 子どもを持つのはむずかしい



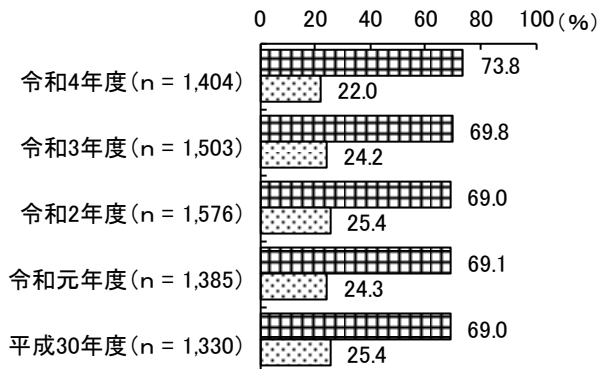
(21) 育児は社会的にも重要であり、  
 もっと評価されるべきだ



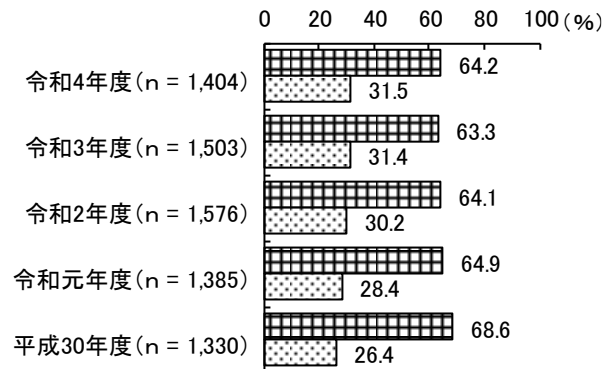
(22) 国際化が進む中で、  
 外国のことをもっと深く知りたい



(23) 若者の「ひきこもり」など、青少年が自分自身の  
 価値や存在感を実感しにくい世の中になっている

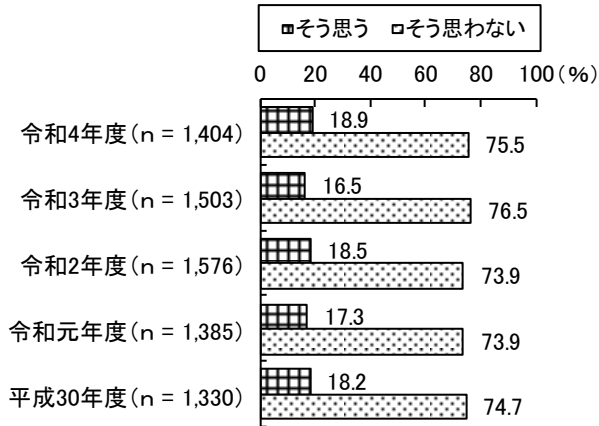


(24) 青少年をめぐる昨今問題は、  
 親や地域住民など大人の責任が大きい

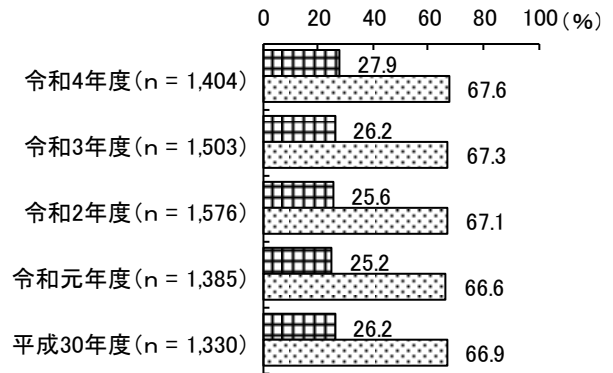


図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）（つづき）

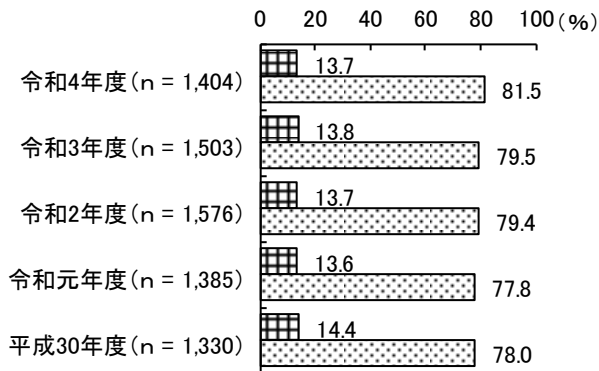
(25) 教員の指導力が向上し、  
子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている



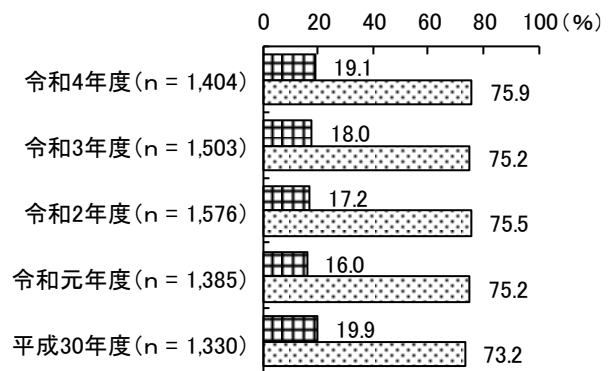
(26) 今後10年くらいの間、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている



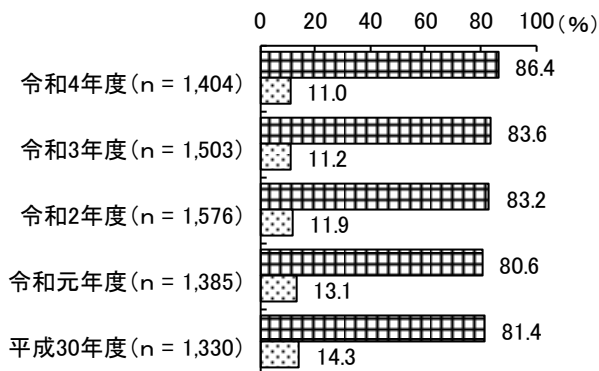
(27) 今後10年くらいの間、地域の大人が、  
青少年の健やかな成長に責任を持つようになっている



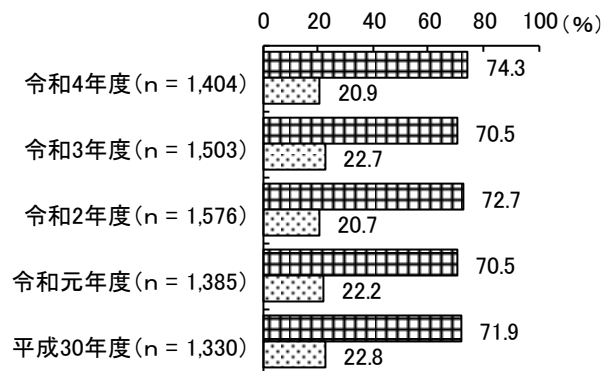
(28) 今後10年くらいの間、子どもたちの教育に  
誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが  
連携し県民全体で進めるようになっている



(29) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、  
身近な森林を守ることにつながるなら、  
積極的に使いたい

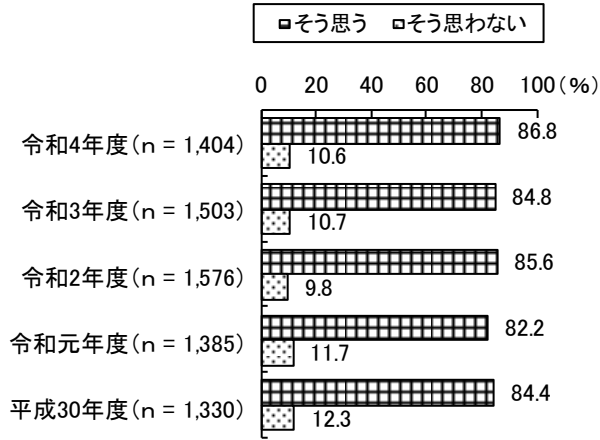


(30) 県内には、世界に発信できる魅力ある  
観光資源がある

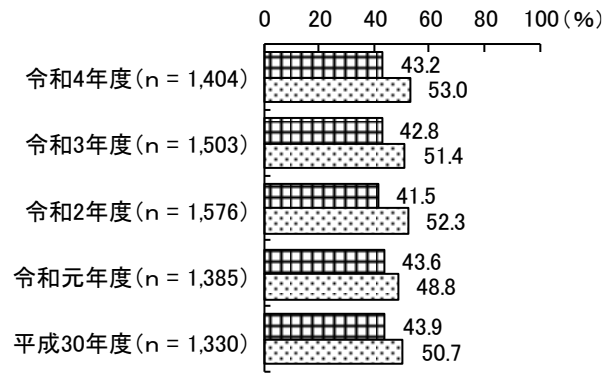


図表 2 (3) 生活意識 (過去との比較) (つづき)

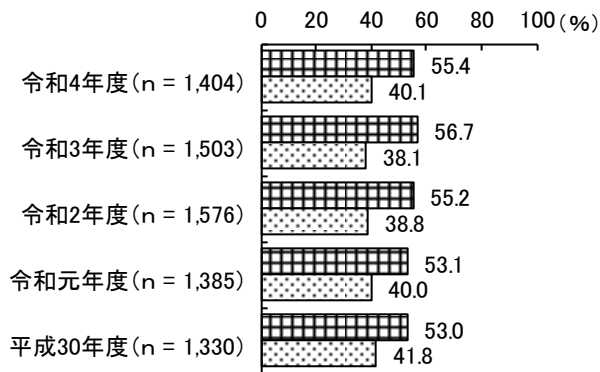
(31) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ



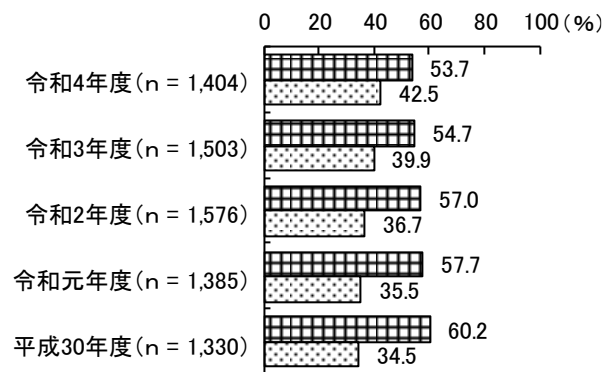
(32) まちなみ、歴史的建造物の保全や公園づくりなど、まちづくり関係の活動に参加してみたい



(33) 県内では、交通渋滞が激しく自動車での移動が不便だ



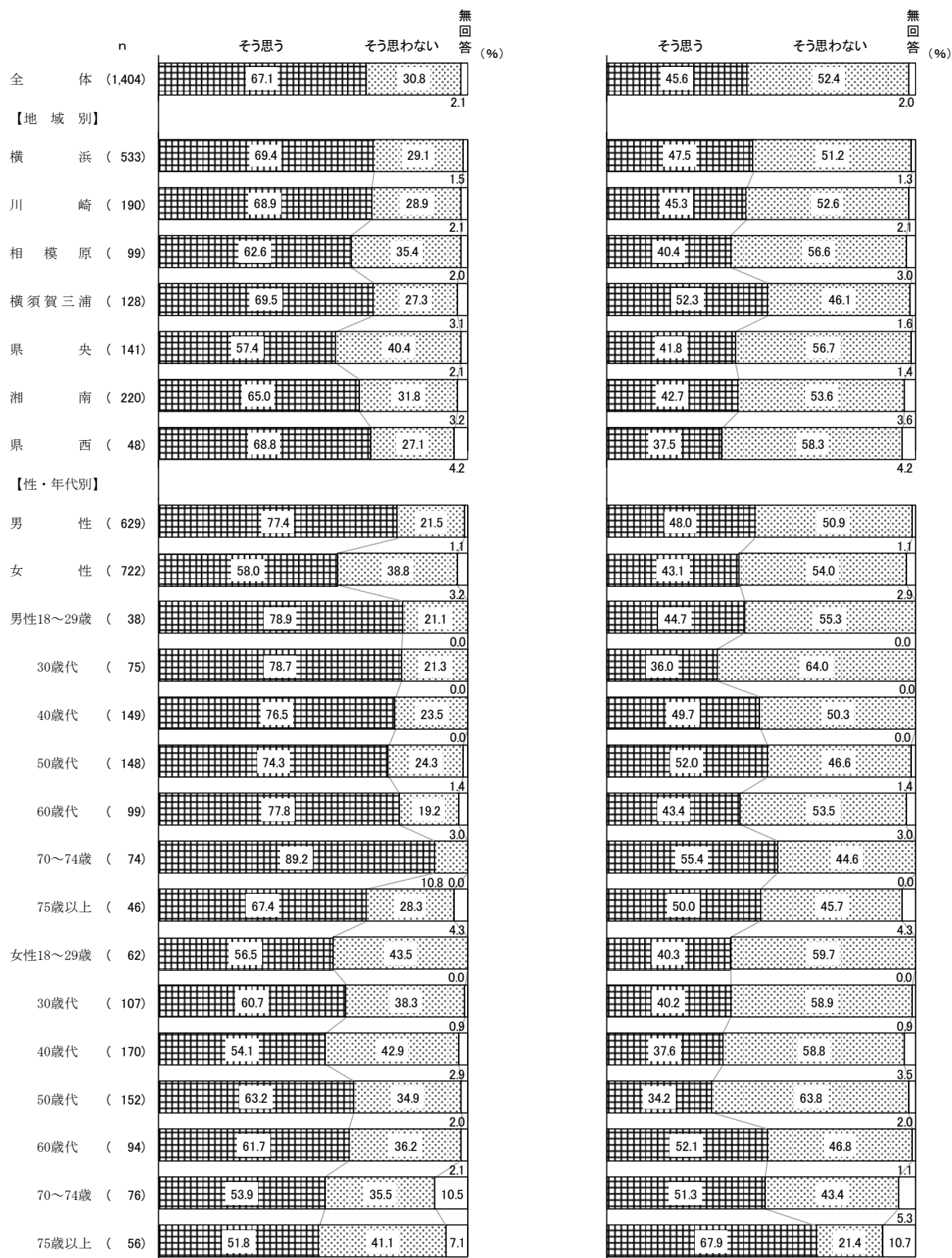
(34) 今後10年くらいの間には、道路や公共交通網がさらに充実し、県内外への利便性がよくなっている



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別)

(1) 今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ

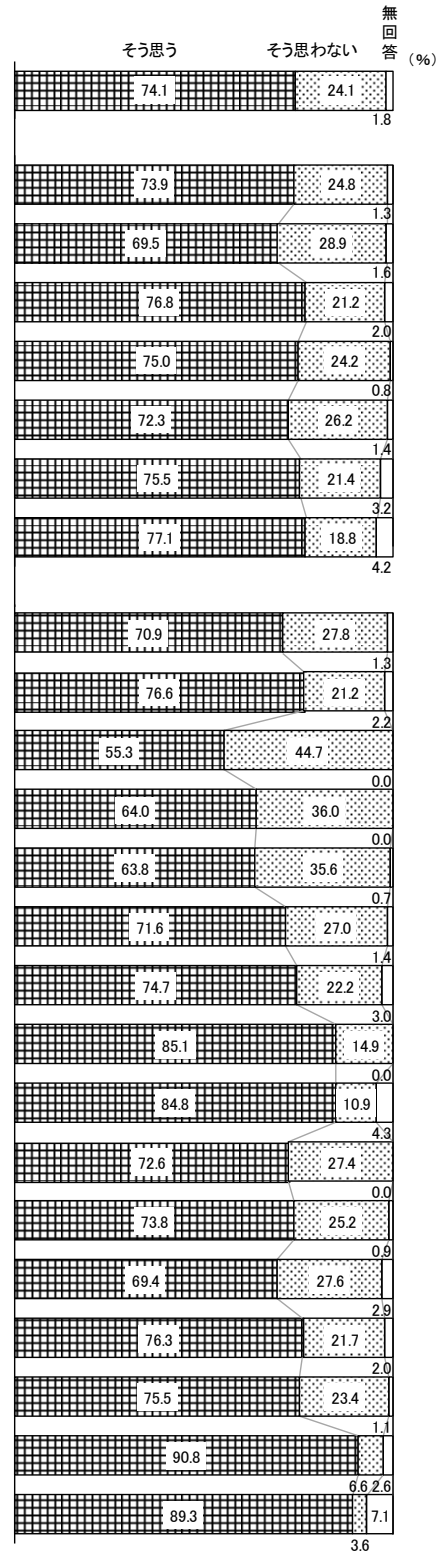
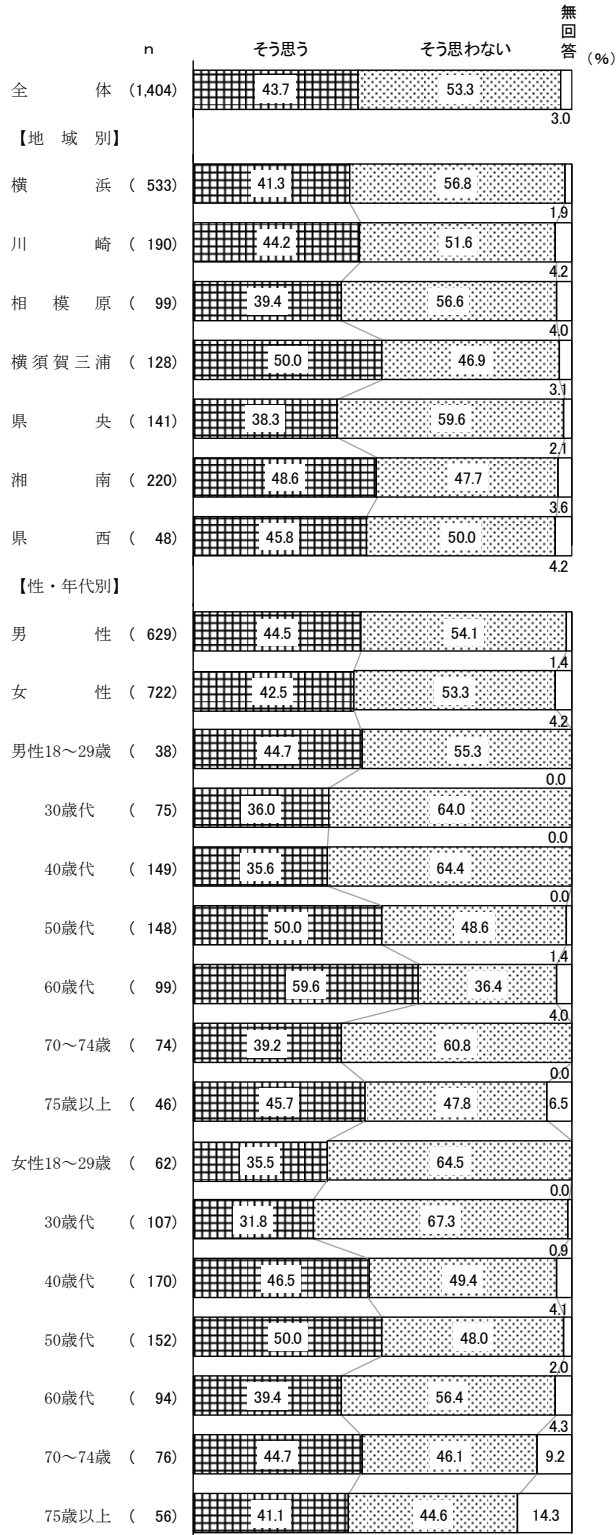
(2) 大地震などの災害がおきても3日はくらせるように、防災の準備ができている



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(3) 安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい

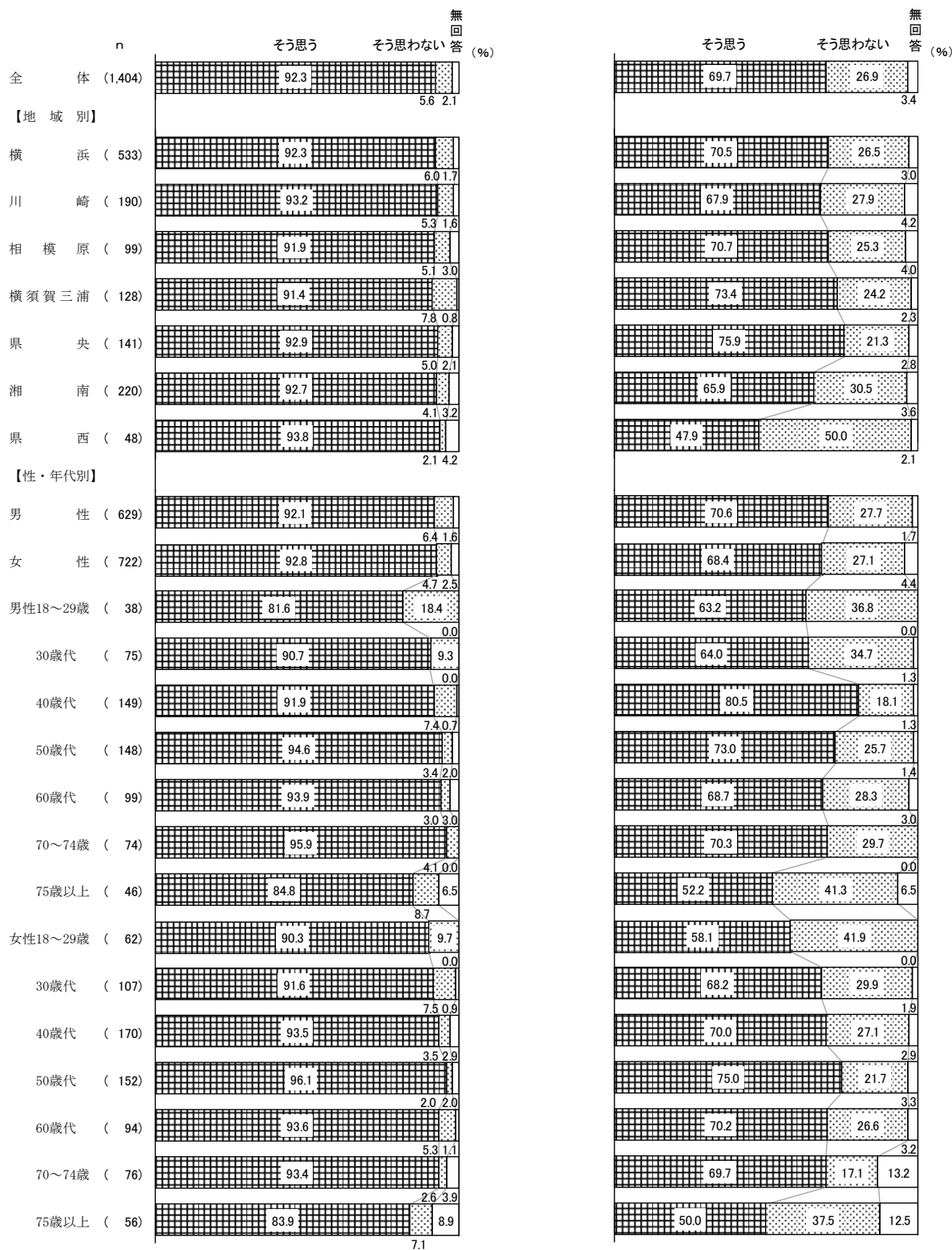
(4) 日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている



図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(5) 介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ

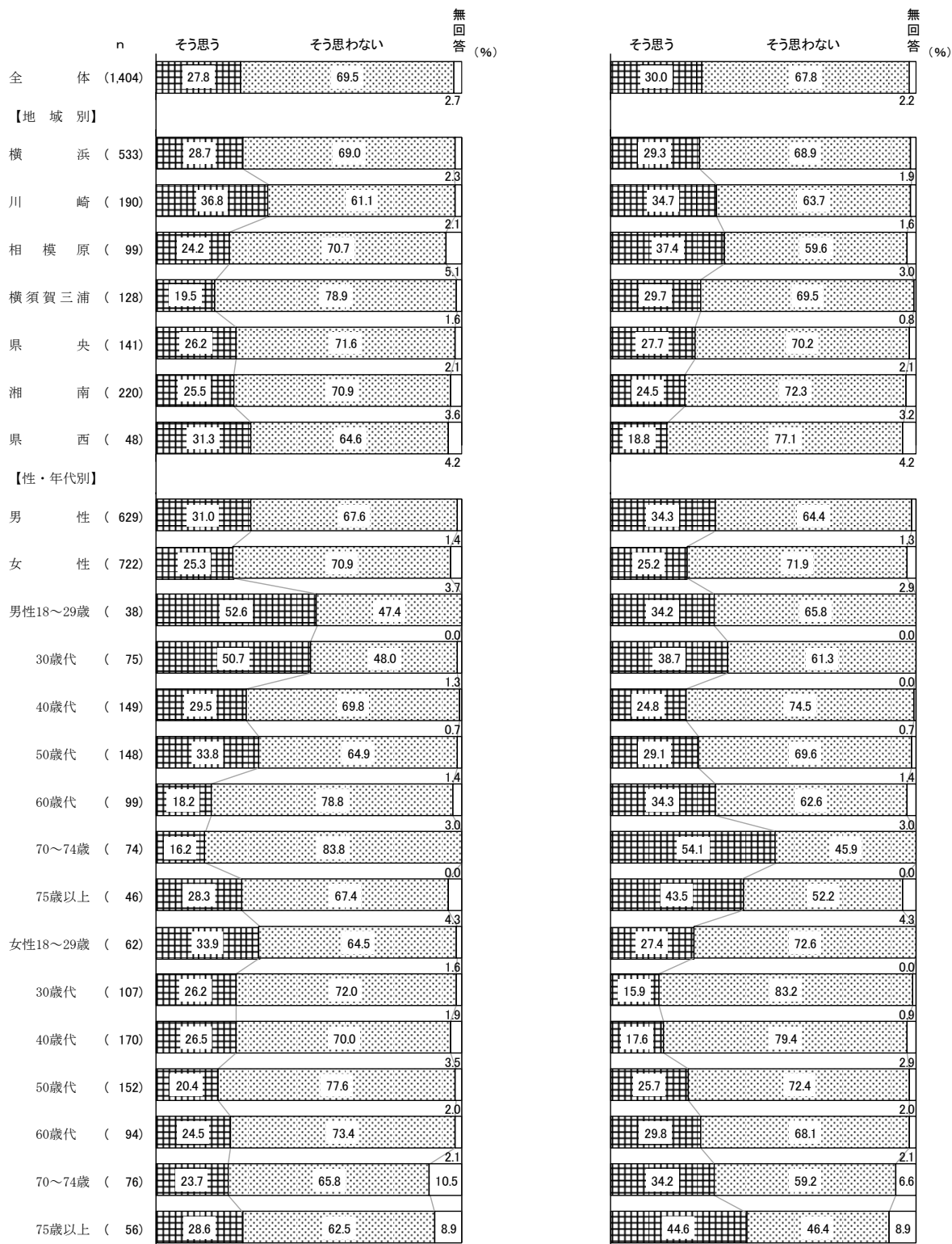
(6) 住居の造りや介護サービスの提供が今の状態の環境では、高齢者が安心して生活するのはむずかしい



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(7) 鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている

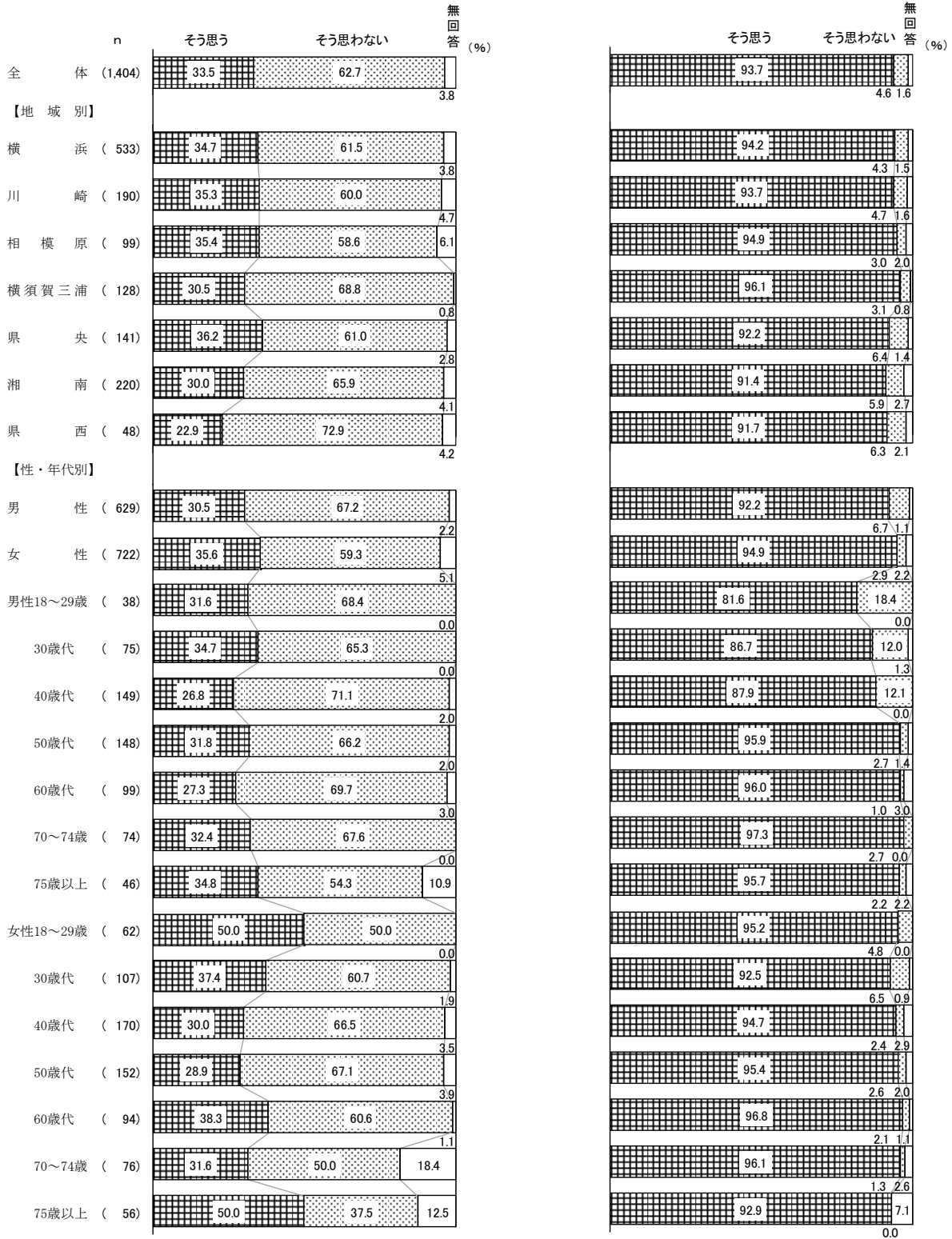
(8) 一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(9) 今後 10 年くらいの間に、かかりつけの医療から高度医療まで、地域医療のネットワーク化が進んでいる

(10) 環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている

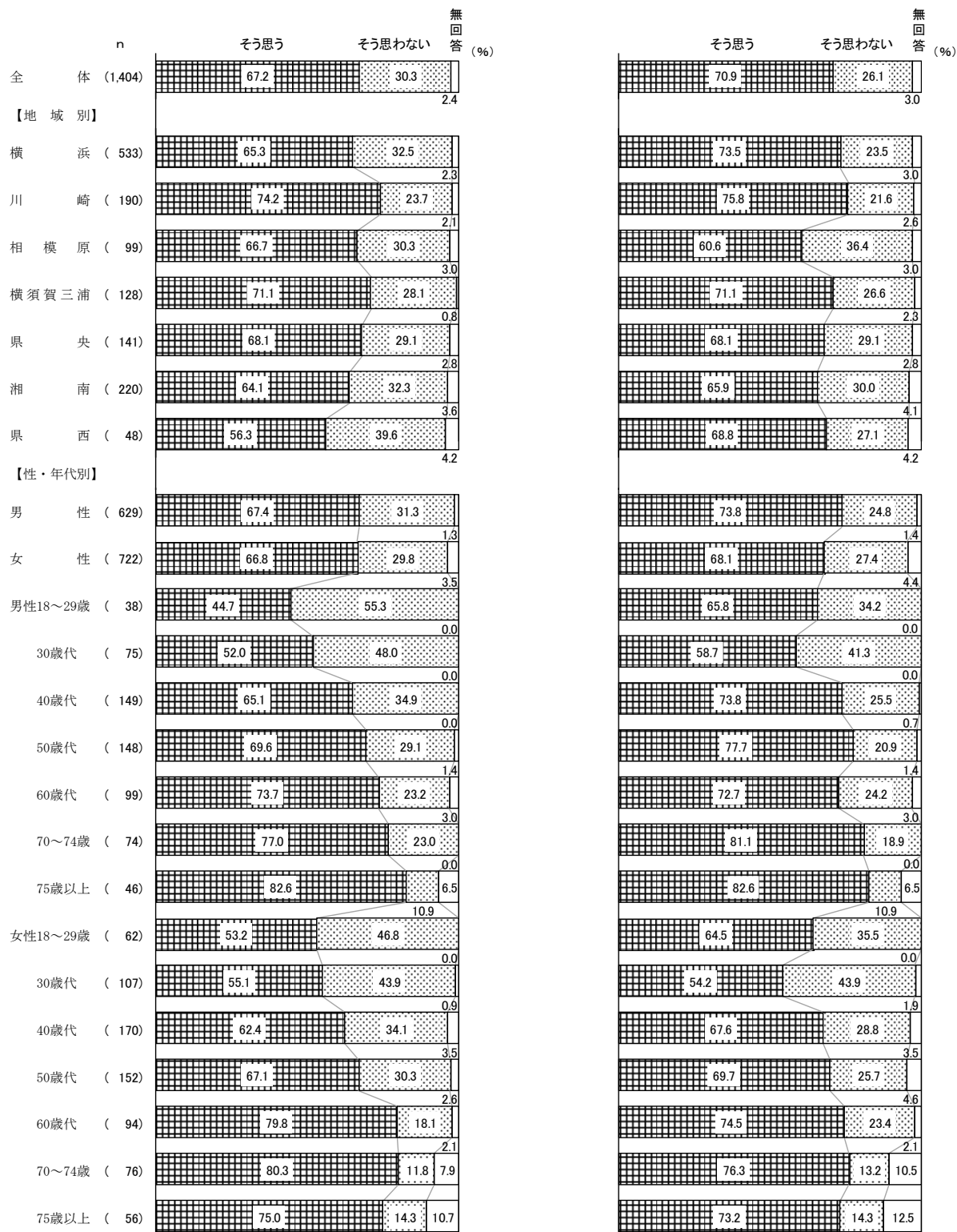




図表2(4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(11) 今より生活が不便になっても省エネには積極的に取り組むべきだ

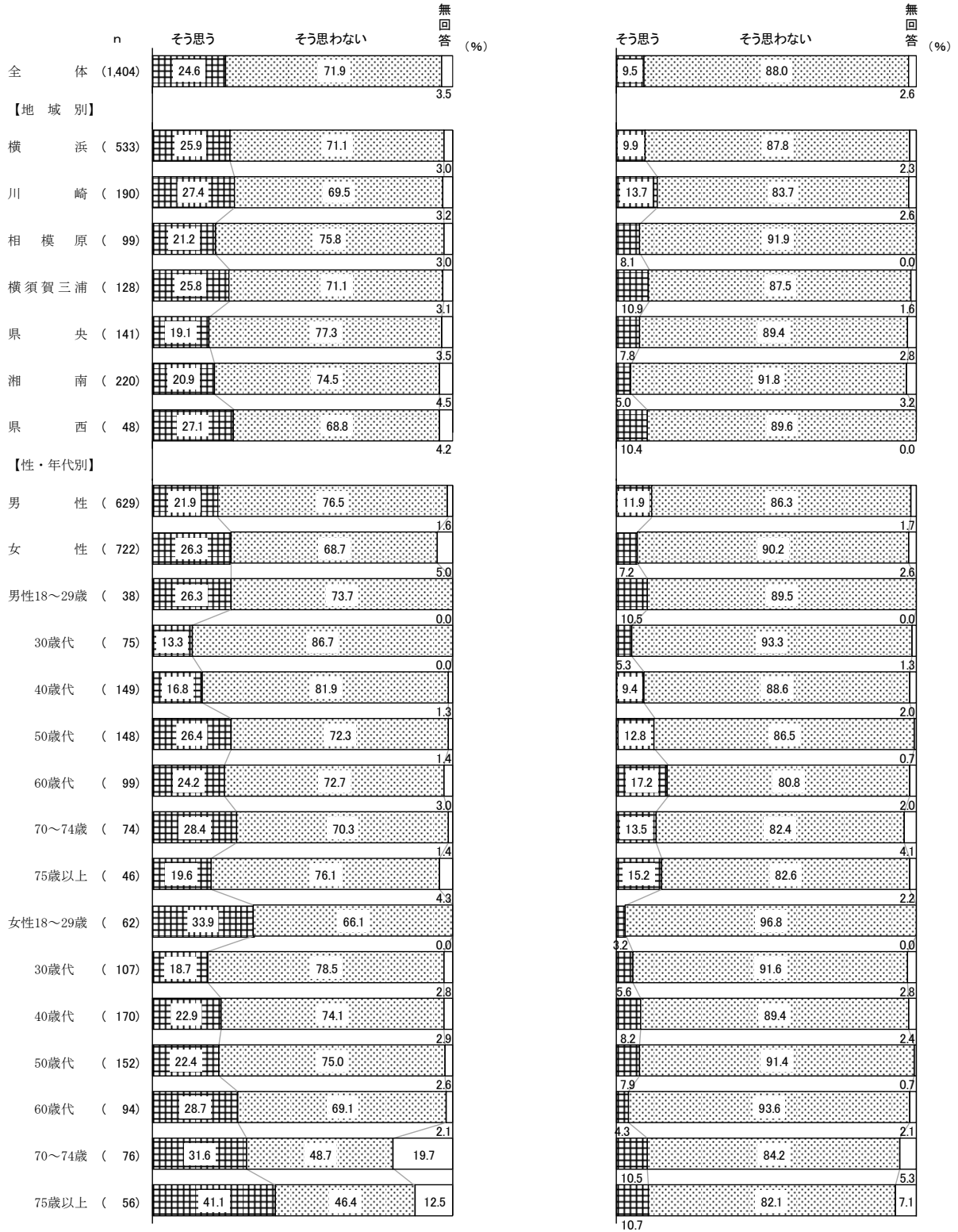
(12) 森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ



図表2(4) 生活意識(地域別、性・年代別)(つづき)

(13) 公益活動を行うNPOなどに  
寄附をしてみたい

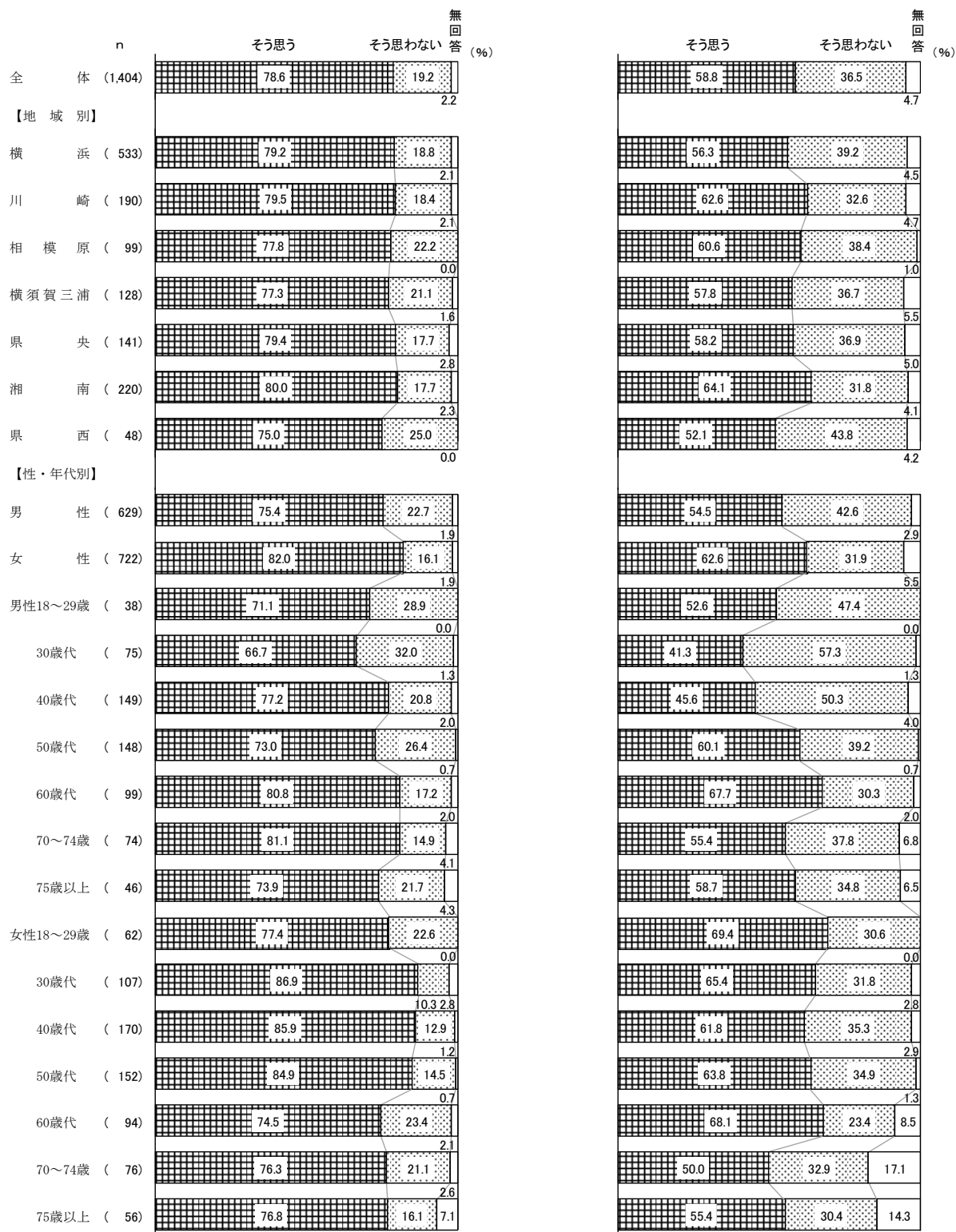
(14) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ



図表2(4) 生活意識(地域別、性・年代別)(つづき)

(15) 女性が働き続けるには、まだまだ  
厳しい世の中だ

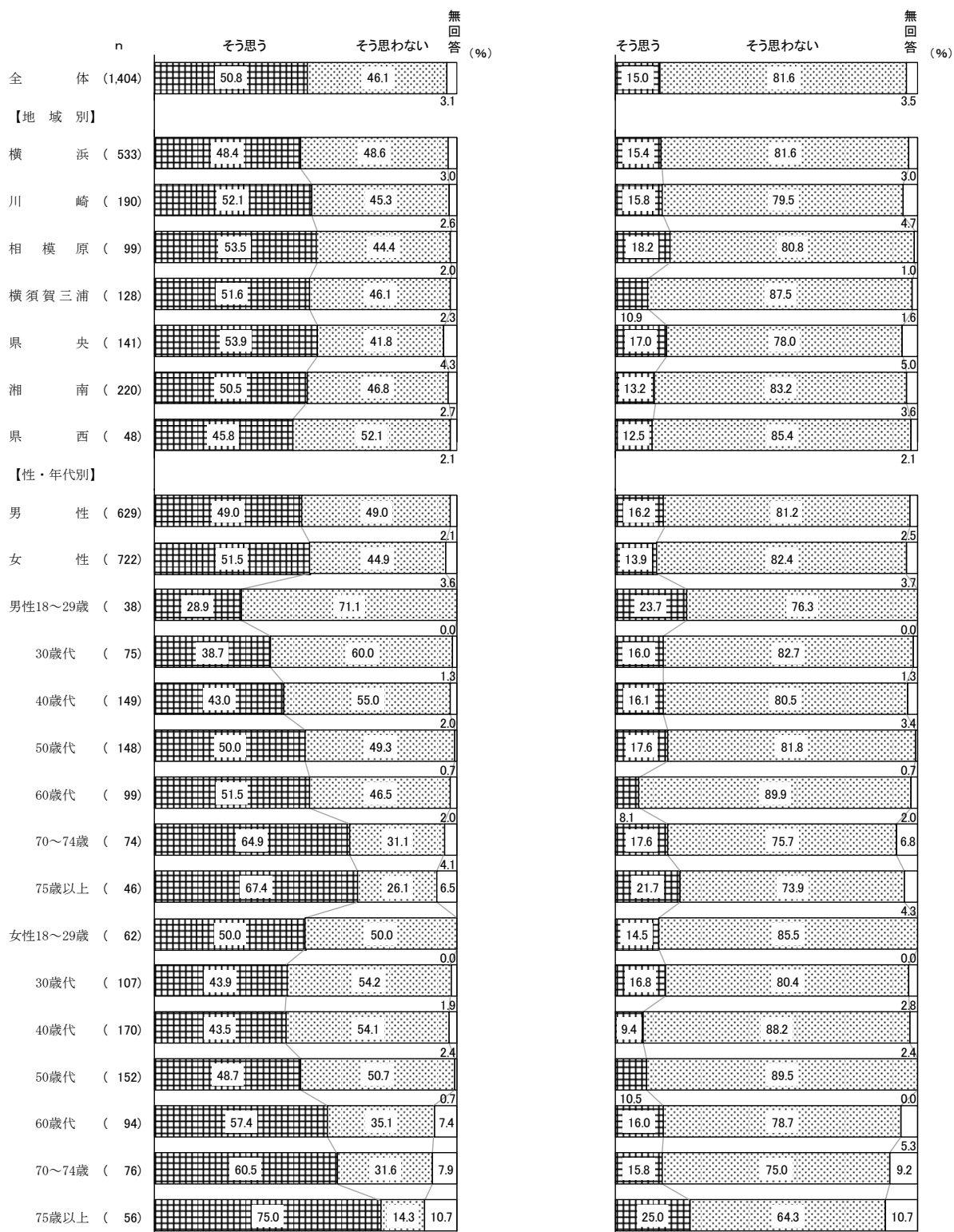
(16) 神奈川県でくらす外国人も日本人と  
同じような権利を持つべきだ



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

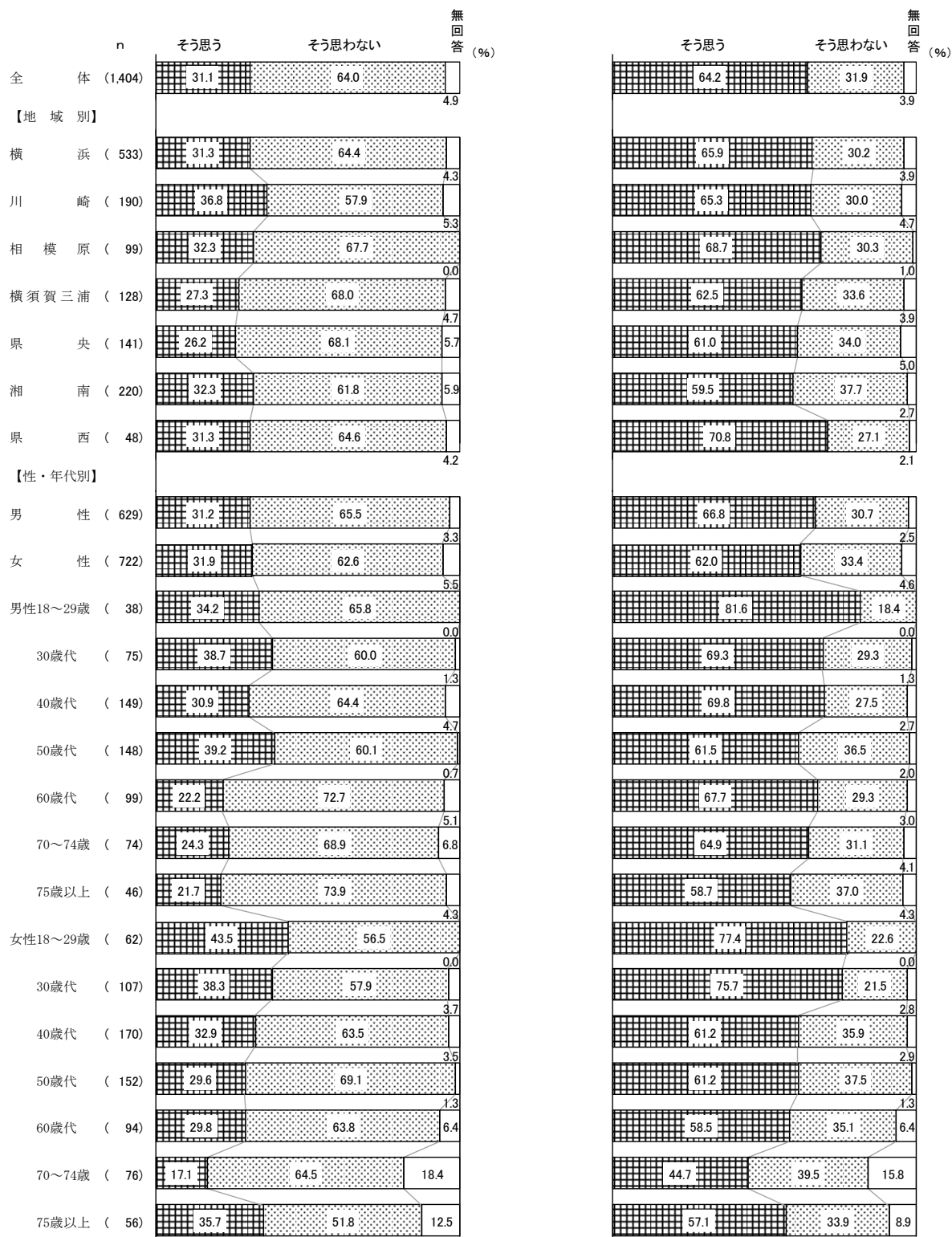
(17) いじめや差別は、一人ひとりが思いやりの心を持ってばなくせるものだ

(18) 今後 10 年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている



図表2(4) 生活意識(地域別、性・年代別)(つづき)

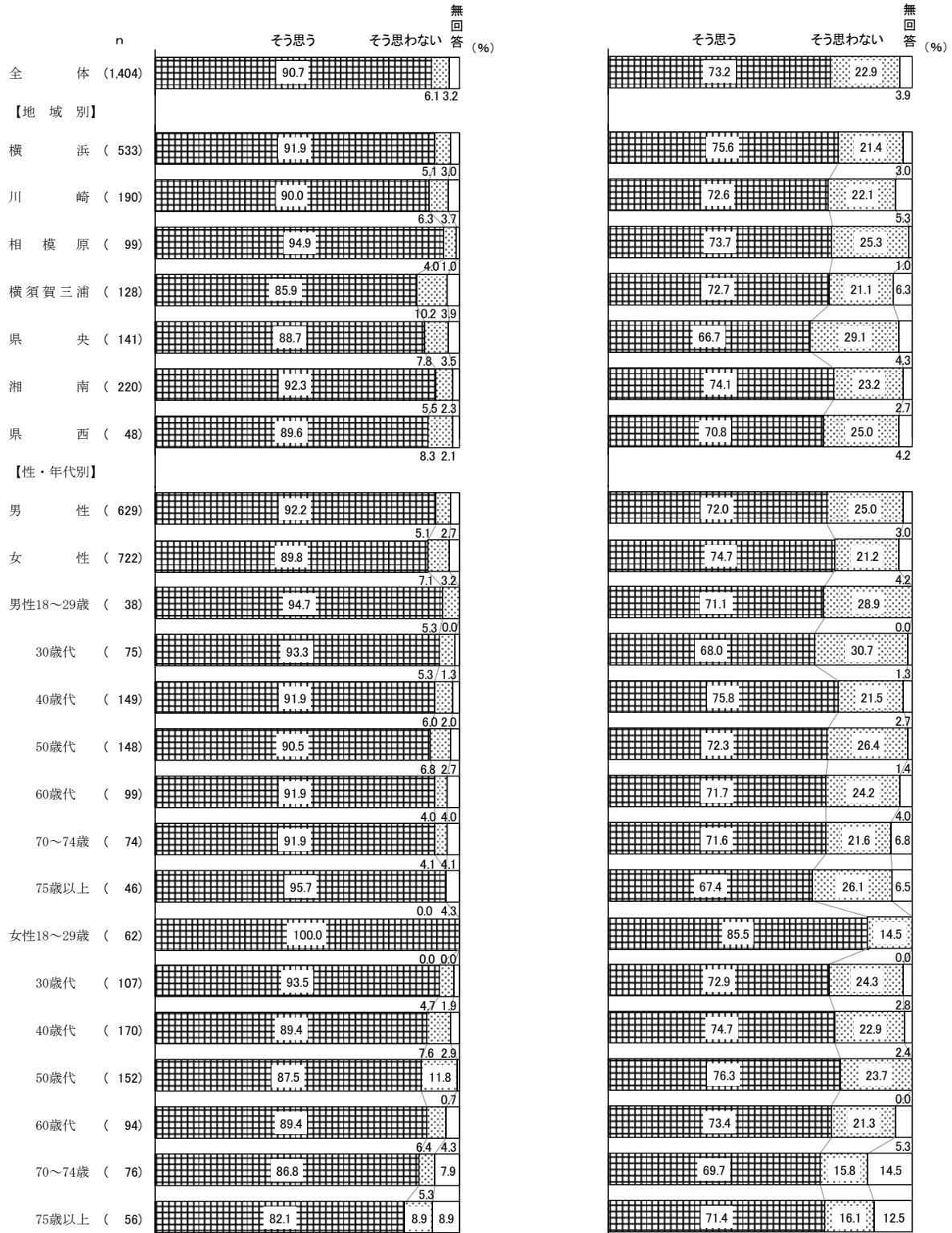
- (19) 今後10年くらいの間に、外国人にとっても  
 暮らしやすい地域社会になっている
- (20) 子どもを生み育てる環境が今のままでは、  
 子どもを持つのはむずかしい



図表2(4) 生活意識(地域別、性・年代別)(つづき)

(21) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ

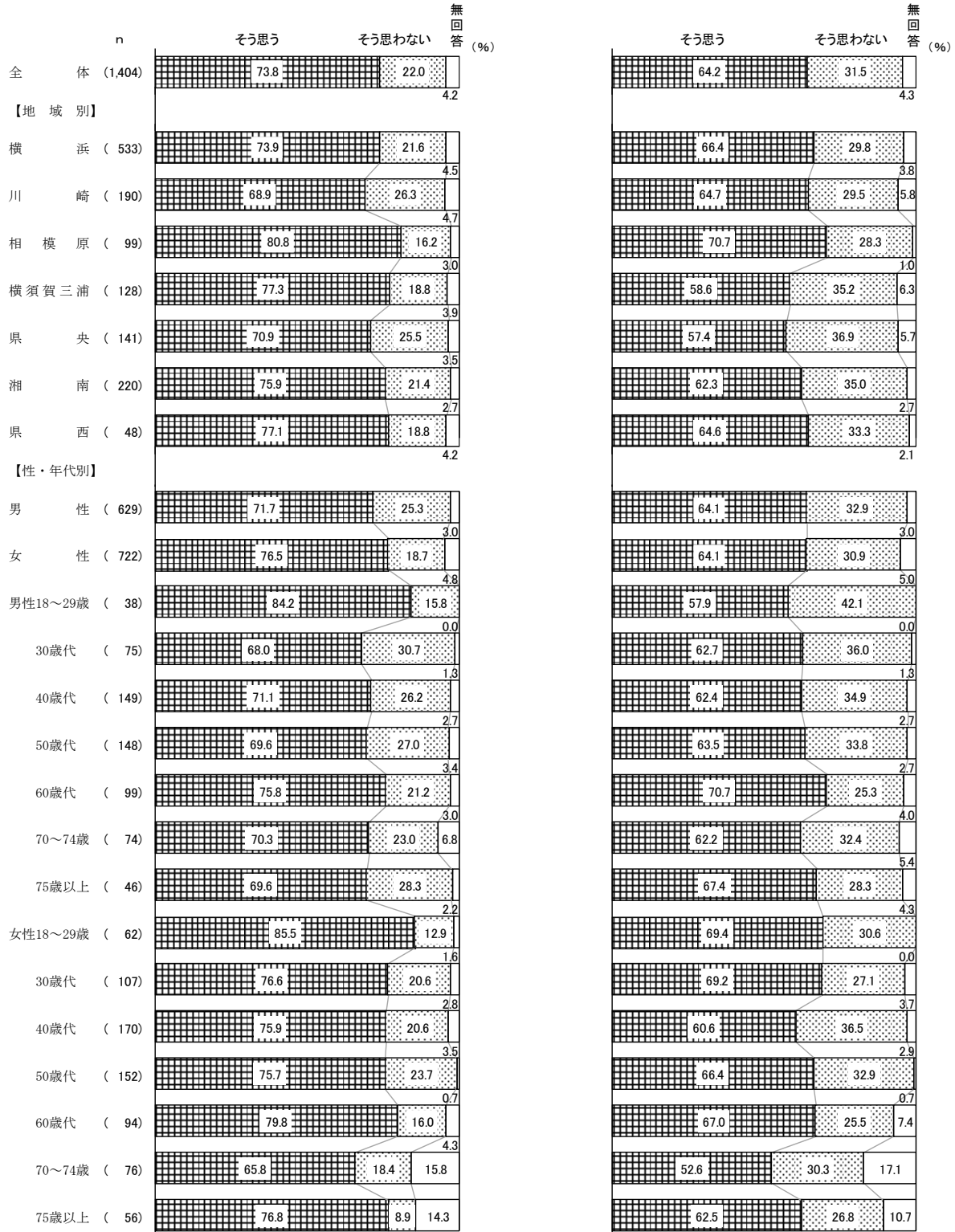
(22) 国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい



図表2(4) 生活意識(地域別、性・年代別)(つづき)

(23) 若者の「ひきこもり」など、青少年が自分自身の価値や存在感を実感しにくい世の中になっている

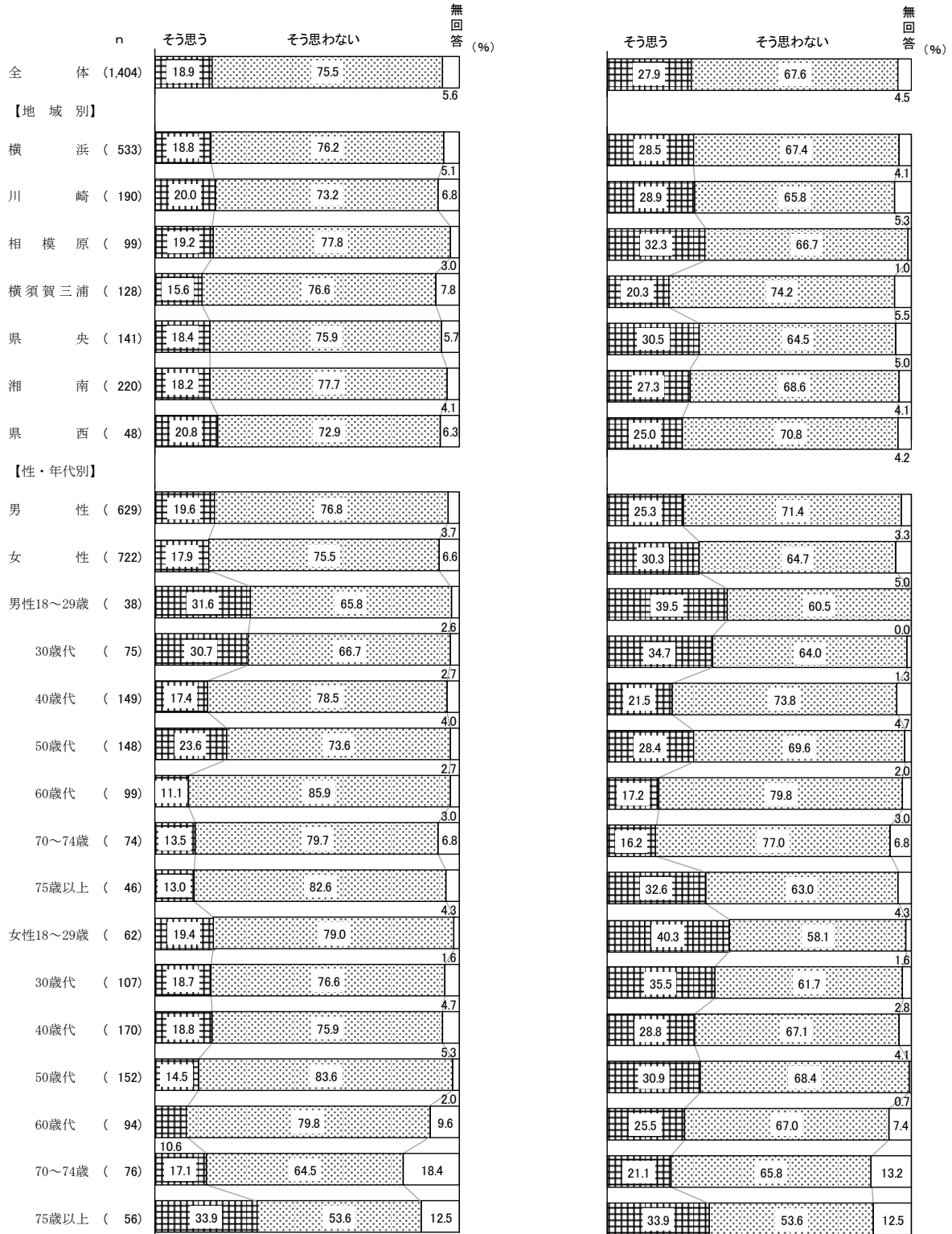
(24) 青少年をめぐる昨今の問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい



図表2(4) 生活意識(地域別、性・年代別)(つづき)

(25) 教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている

(26) 今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている

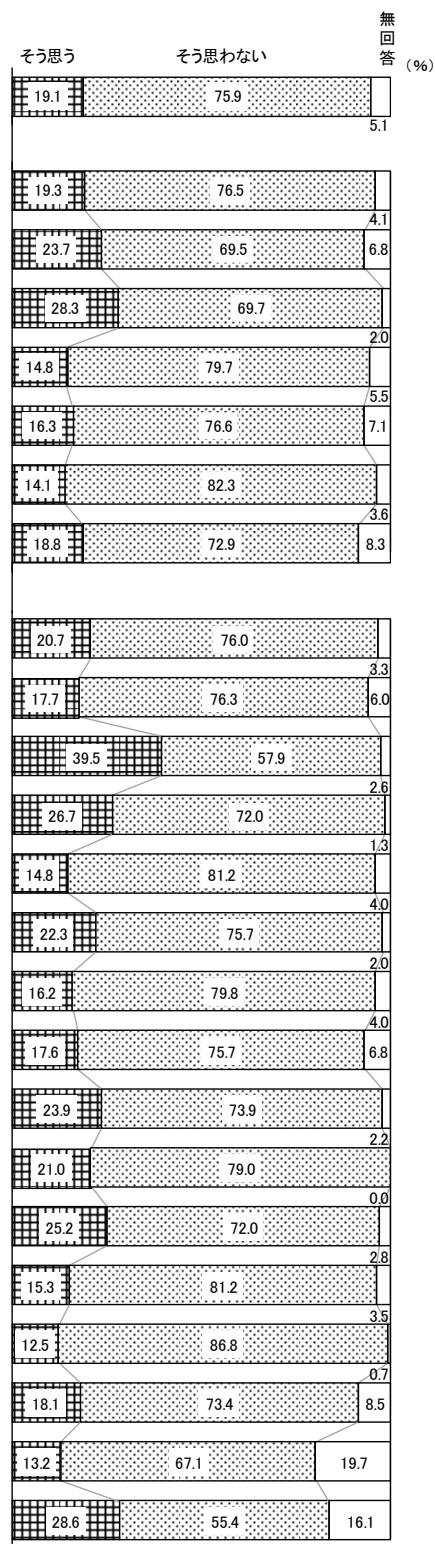
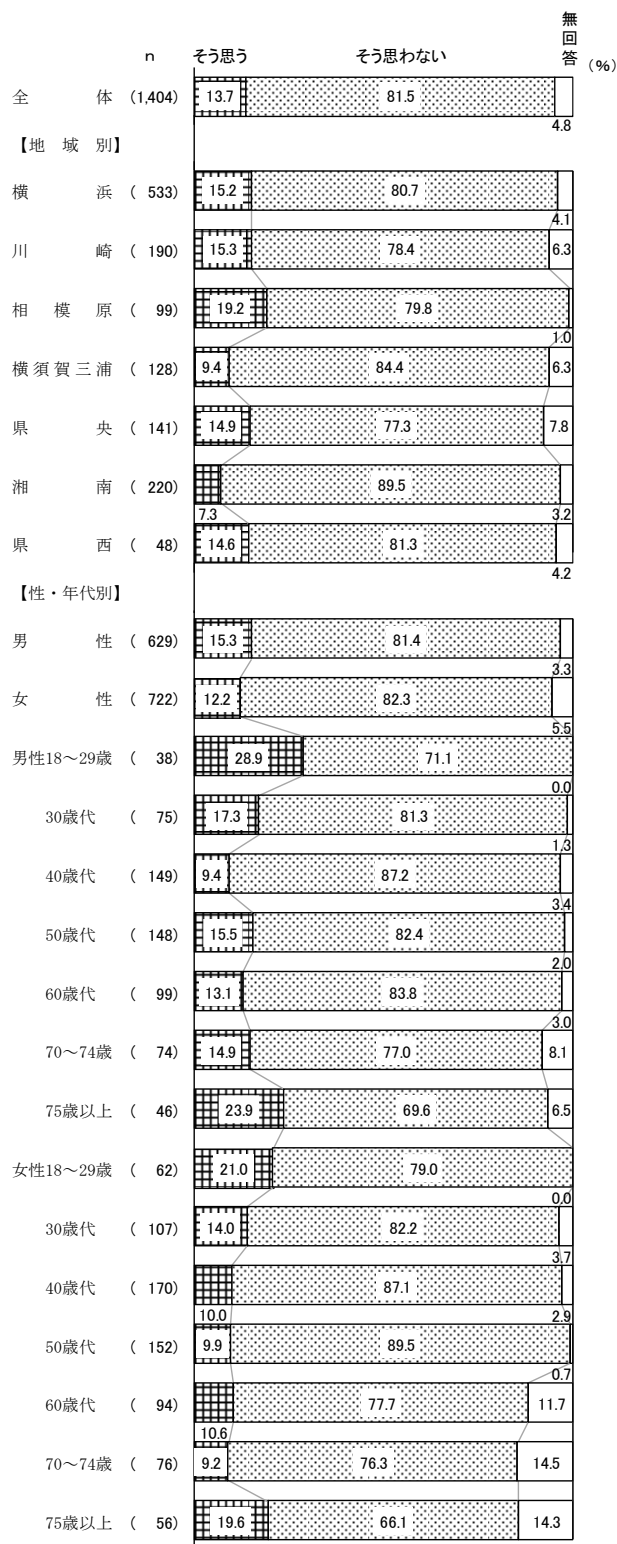




図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(27) 今後 10 年くらいの間に、地域の大人が、  
青少年の健やかな成長に責任を持つよう  
になっている

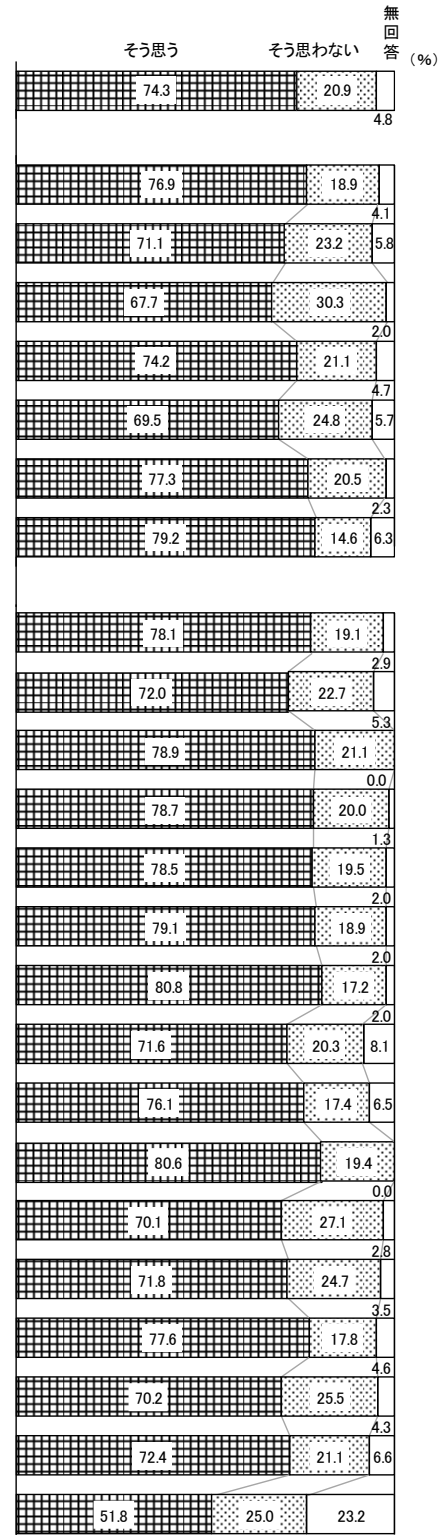
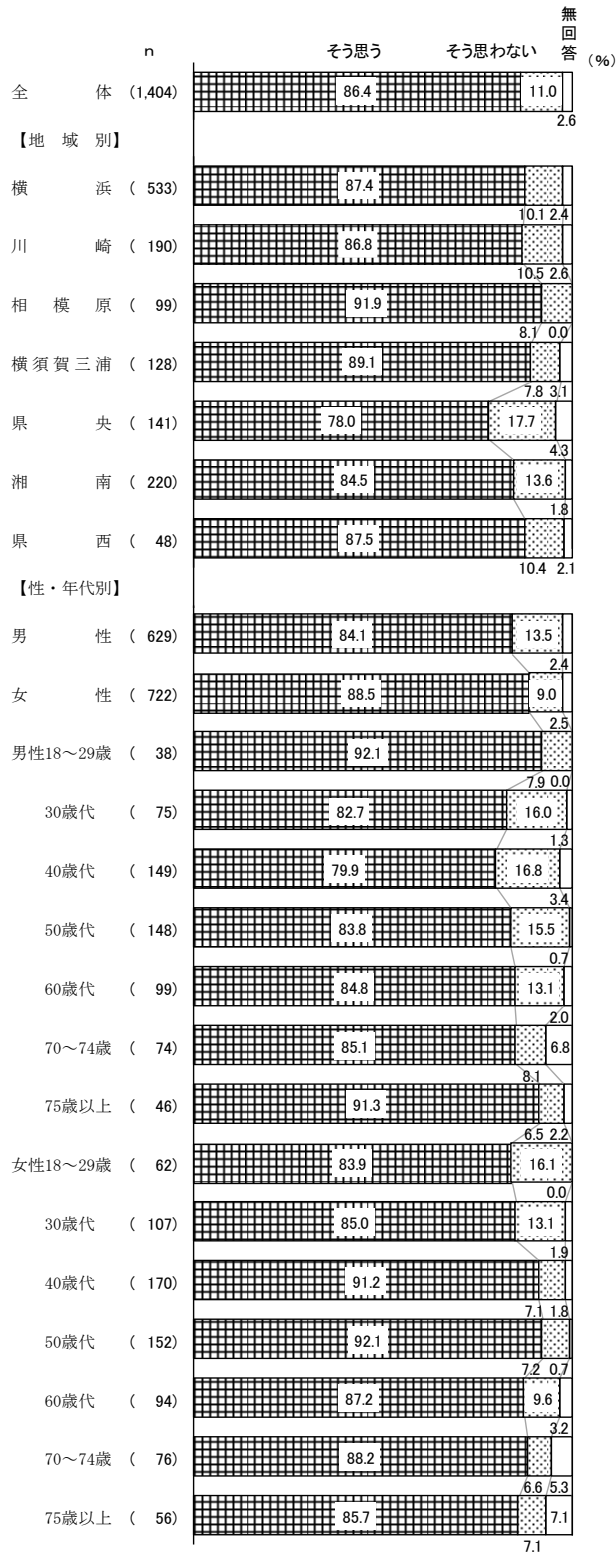
(28) 今後 10 年くらいの間に、子どもたちの  
教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・  
地域などが連携し県民全体で進めるよう  
になっている



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(29) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい

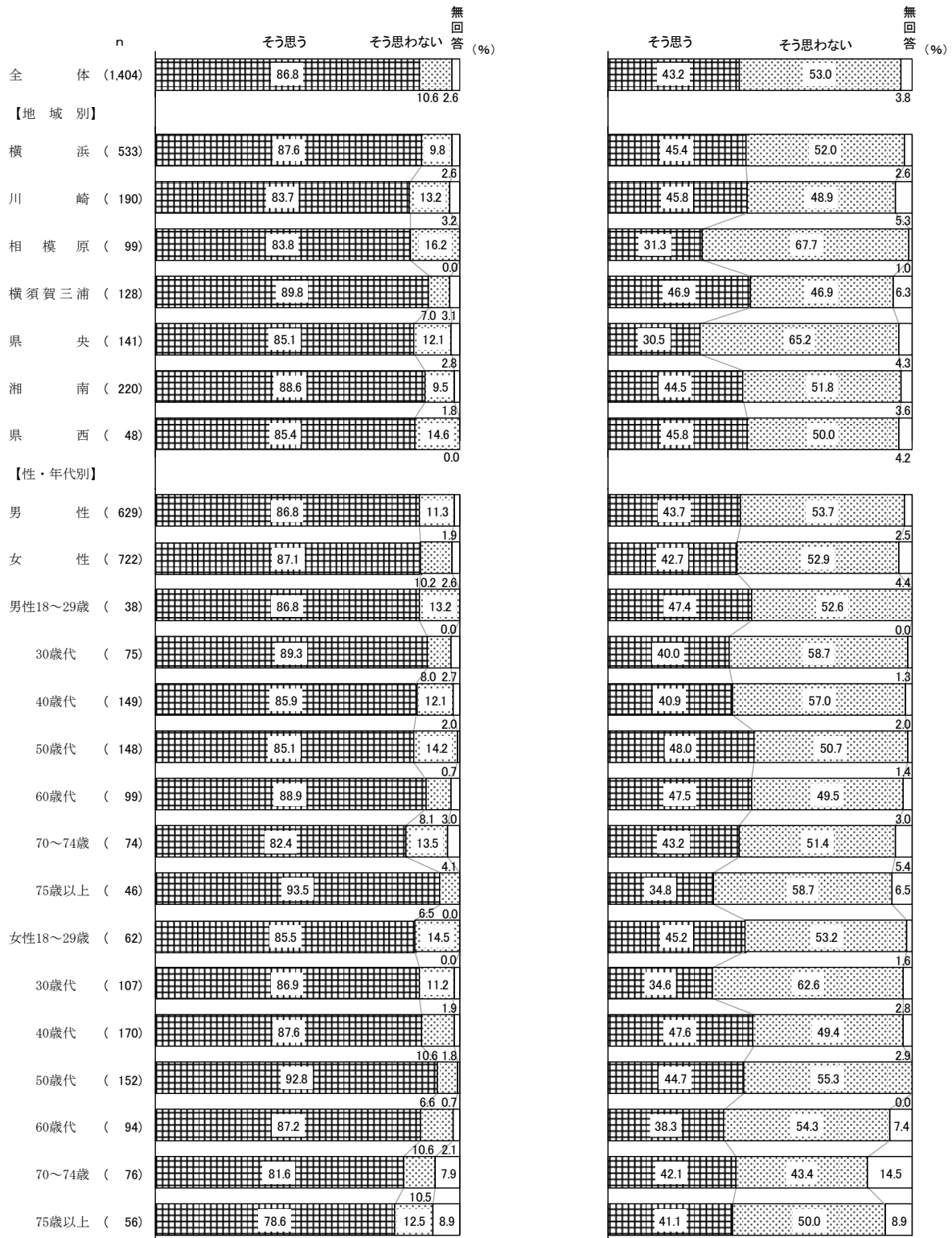
(30) 県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(31) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ

(32) まちなみ、歴史的建造物の保全や公園づくりなど、まちづくり関係の活動に参加してみたい



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(33) 県内では、交通渋滞が激しく自動車での移動が不便だ

(34) 今後 10 年くらいの間に、道路や公共交通網がさらに充実し、県内外への利便性がよくなっている

